

# 岡山県の院内がん登録

2008～2011年登録症例の集計

岡山県がん診療連携協議会 がん登録部会

岡山大学病院

岡山済生会総合病院

総合病院 岡山赤十字病院

公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院

財団法人津山慈風会 津山中央病院

独立行政法人国立病院機構 岡山医療センター

川崎医科大学附属病院

平成25年(2013年)の我が国の人口動態統計によると、1年間で死亡したのは126万8432人で、第1位が悪性新生物(その大部分は「がん」)による死亡(36万4721人)、第2位は心疾患(19万6547人)、第3位は肺炎(12万2880人)、第4位は脳血管疾患(11万8286人)となっていました。がんの部位別では、男性のがんによる死亡21万6883人のうち肺がんが最も多く、次いで胃がん、大腸がんと続き、女性はがんによる死亡14万7837人のうち大腸がんが最も多く、次いで肺がん、胃がんでした。

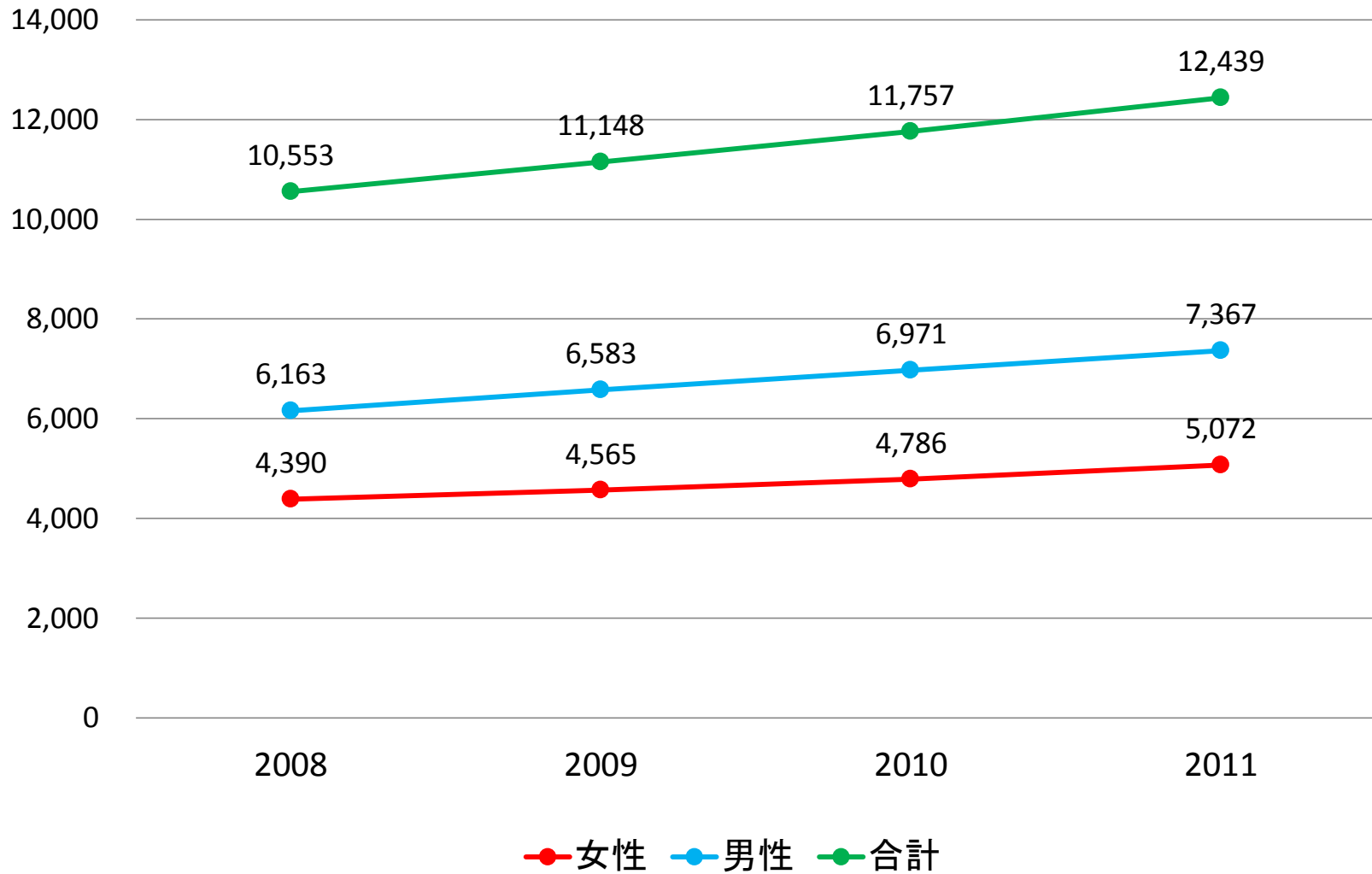
高齢化の進行により、がんで亡くなる方が増加しており、生涯のうちに約2人に1人ががんにかかり、3人に1人ががんで亡くなると推計されています。医学の進歩により、克服されたがんも中にはありますが、依然としてがんは国民の生命と健康にとって重大な問題です。

国から岡山県がん診療連携拠点病院の指定を受けている岡山大学病院，地域がん診療連携拠点病院の指定を受けている岡山済生会総合病院，総合病院岡山赤十字病院，公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構倉敷中央病院，財団法人津山慈風会津山中央病院，独立行政法人国立病院機構岡山医療センター，川崎医科大学附属病院の合計7施設において2008年から2011年までの4年間に院内がん登録として45,897件の症例の集積が行なわれました。

今回，いわゆる5大がん（肺がん，胃がん，大腸がん，肝がん，乳がん）を中心として集計を行ないましたので，その結果を公開します。

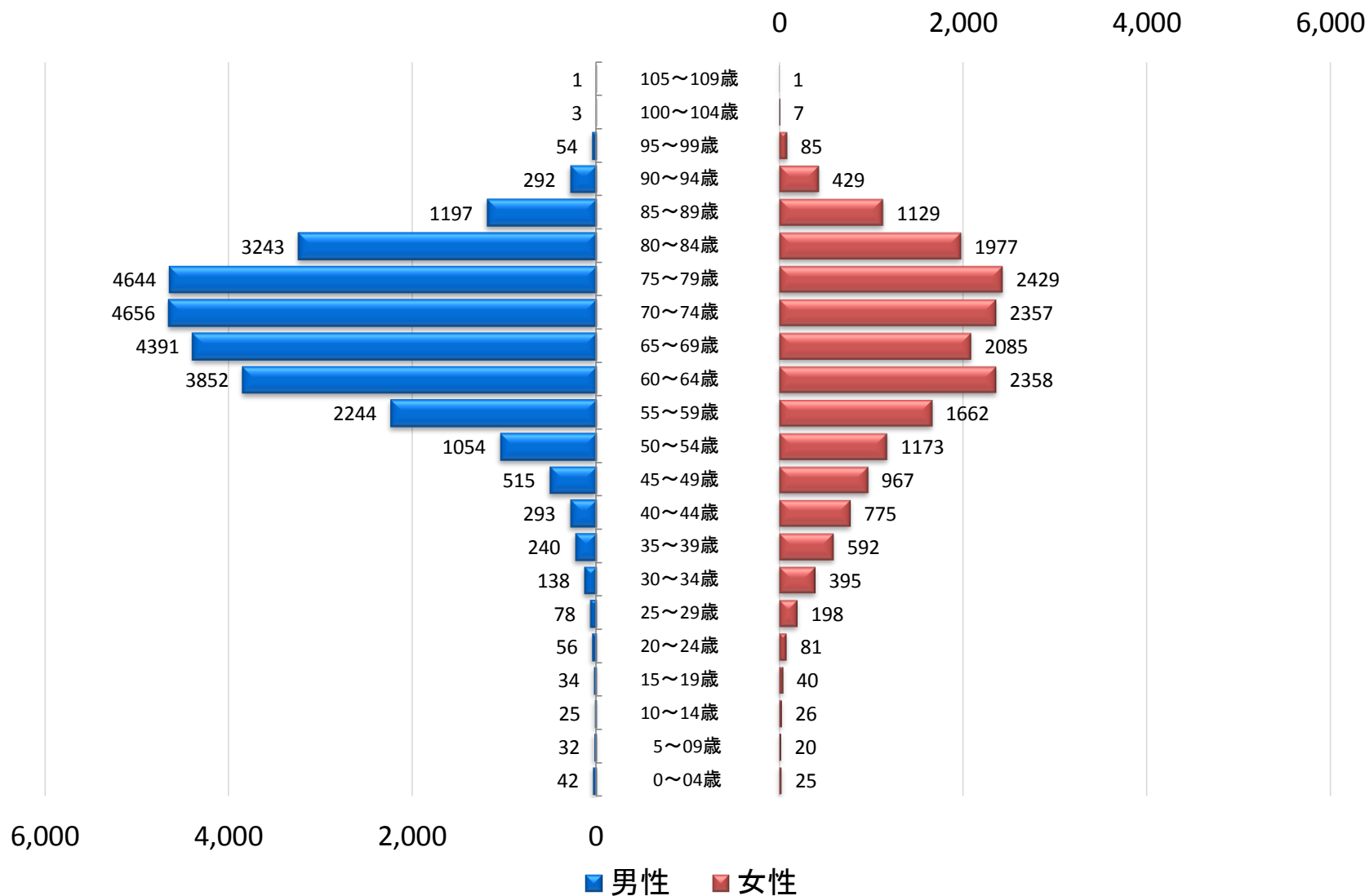
岡山県下のすべてののがん患者さんが登録されているわけではありませんので，以下に示す院内がん登録のデータが岡山県全体の状況を反映しているわけではない点にご留意下さい。

## 院内がん登録の登録件数



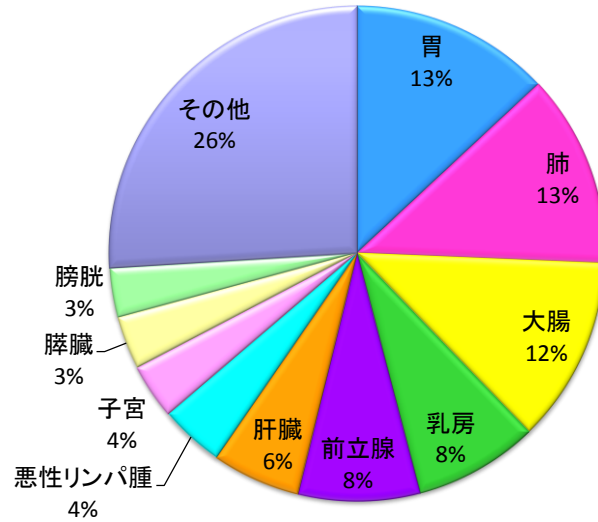
院内がん登録の登録症例数は男女とも年々増加傾向です

## 年齢分布(全悪性新生物)

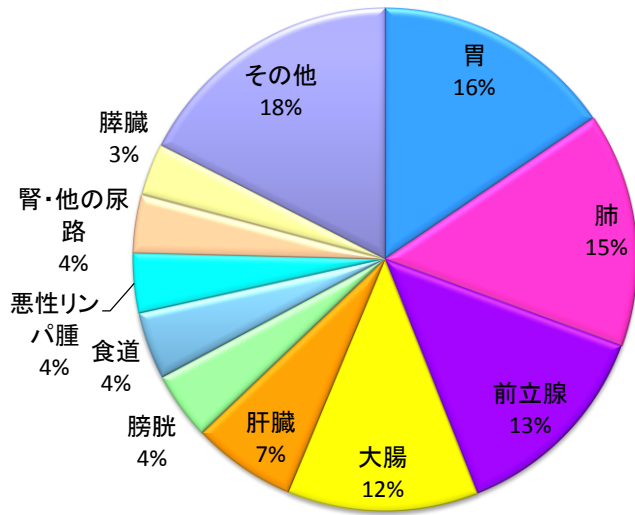


悪性新生物と診断を受けた時点の年齢の分布を男女別に示します

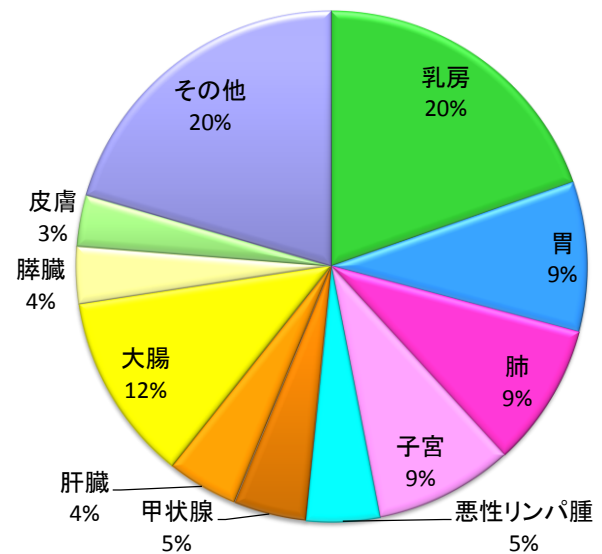
悪性新生物  
Top 10  
全例



悪性新生物  
Top 10  
男性

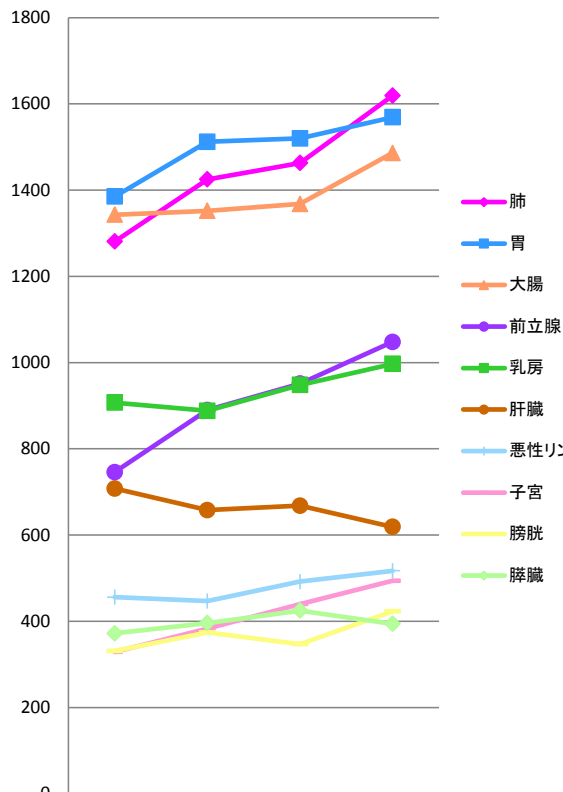


悪性新生物  
Top 10  
女性



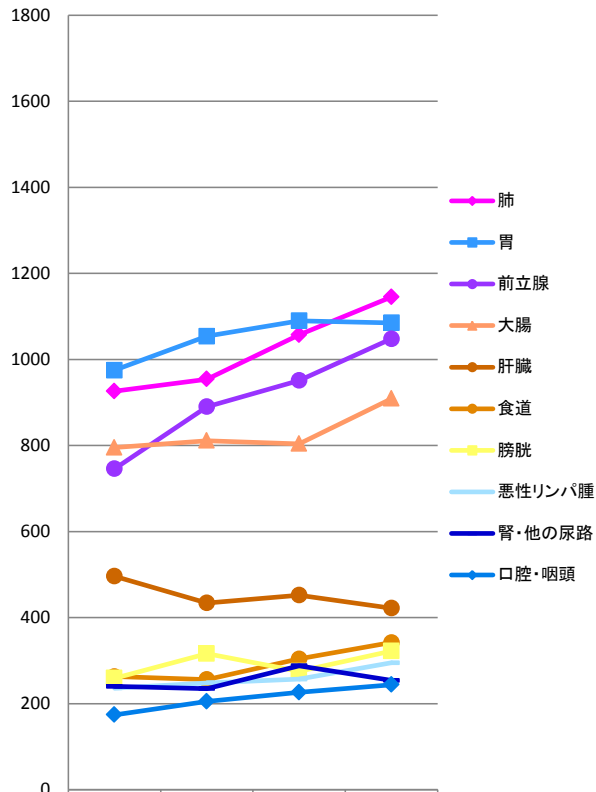
悪性新生物の登録数の上位10臓器を示します

臓器別登録数:総計



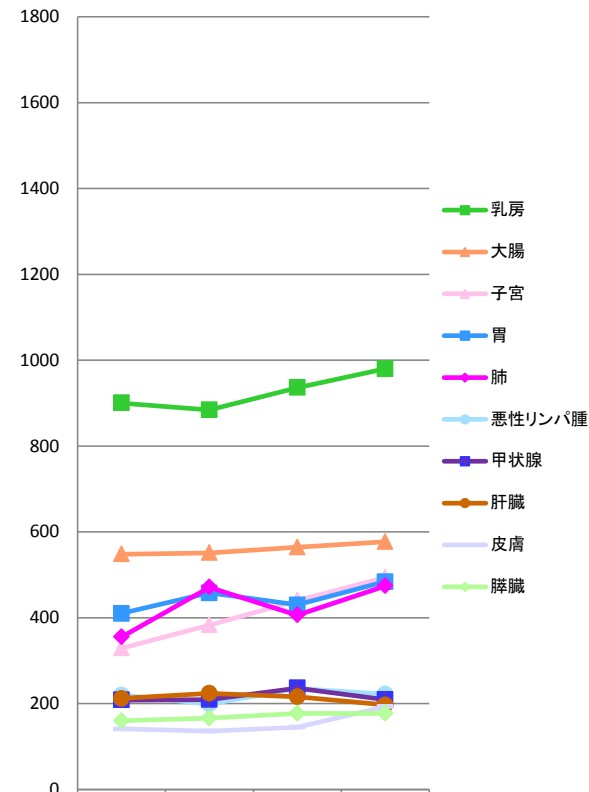
|        | 2008 | 2009 | 2010 | 2011 |
|--------|------|------|------|------|
| 肺      | 1281 | 1425 | 1463 | 1619 |
| 胃      | 1385 | 1512 | 1520 | 1569 |
| 大腸     | 1343 | 1352 | 1368 | 1486 |
| 前立腺    | 746  | 890  | 951  | 1048 |
| 乳房     | 907  | 888  | 948  | 997  |
| 肝臓     | 708  | 658  | 668  | 619  |
| 悪性リンパ腫 | 456  | 447  | 492  | 517  |
| 子宮     | 329  | 383  | 440  | 494  |
| 膀胱     | 331  | 374  | 347  | 423  |
| 脾臓     | 372  | 396  | 425  | 394  |

臓器別登録数:男性



|        | 2008 | 2009 | 2010 | 2011 |
|--------|------|------|------|------|
| 肺      | 926  | 954  | 1057 | 1145 |
| 胃      | 975  | 1054 | 1090 | 1085 |
| 大腸     | 795  | 811  | 804  | 909  |
| 前立腺    | 746  | 890  | 951  | 1048 |
| 乳房     | 496  | 434  | 452  | 422  |
| 肝臓     | 496  | 434  | 452  | 422  |
| 食道     | 263  | 256  | 304  | 342  |
| 膀胱     | 259  | 316  | 275  | 322  |
| 悪性リンパ腫 | 236  | 248  | 257  | 295  |
| 腎・他の尿路 | 240  | 235  | 288  | 254  |
| 口腔・咽頭  | 174  | 205  | 226  | 244  |

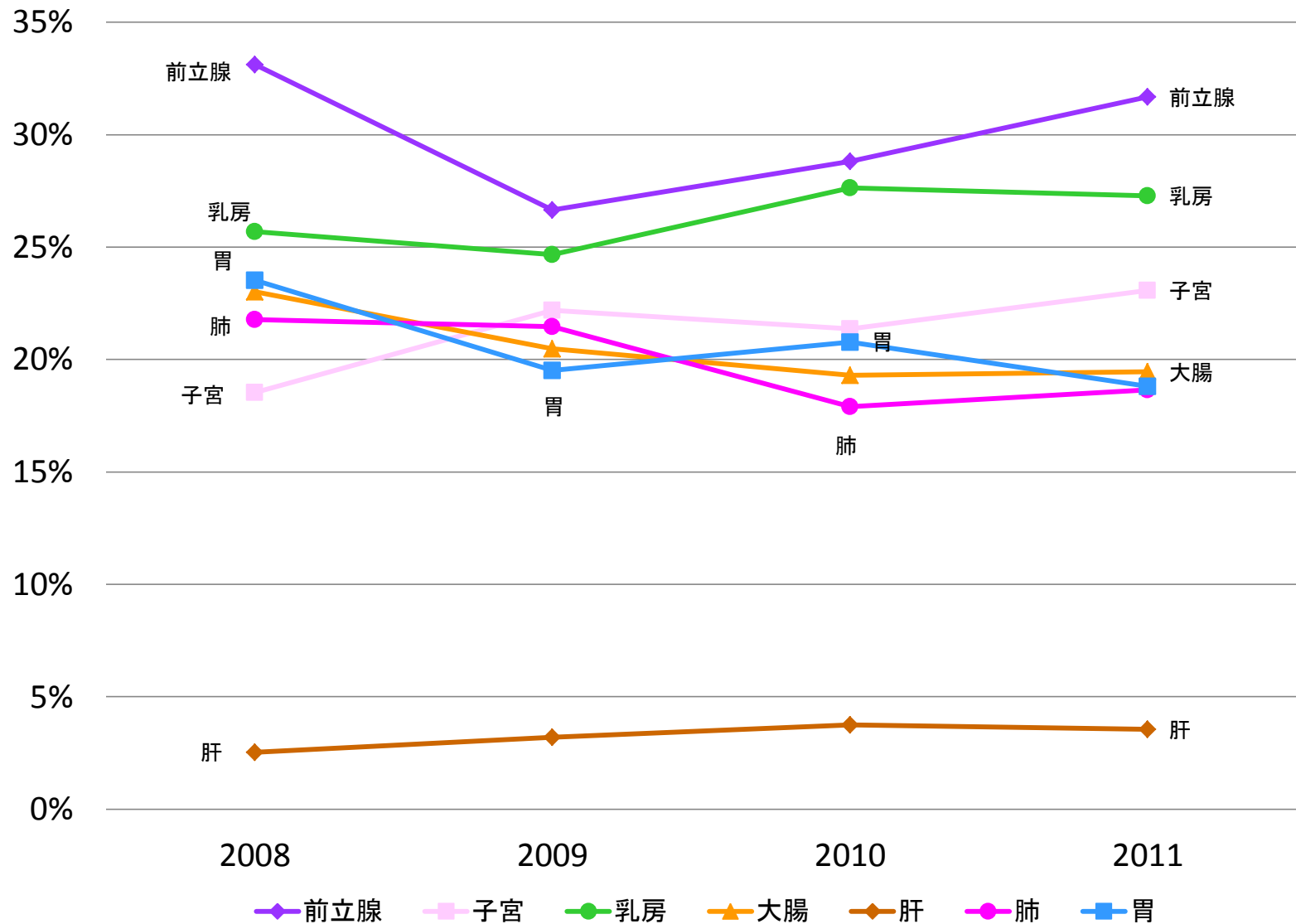
臓器別登録数:女性



|        | 2008 | 2009 | 2010 | 2011 |
|--------|------|------|------|------|
| 乳房     | 900  | 884  | 936  | 980  |
| 大腸     | 548  | 551  | 564  | 577  |
| 子宮     | 329  | 383  | 440  | 494  |
| 胃      | 410  | 458  | 430  | 484  |
| 肺      | 355  | 471  | 406  | 474  |
| 悪性リンパ腫 | 220  | 199  | 235  | 222  |
| 甲状腺    | 208  | 209  | 236  | 209  |
| 肝臓     | 212  | 224  | 216  | 197  |
| 皮膚     | 141  | 136  | 145  | 193  |
| 脾臓     | 160  | 166  | 177  | 177  |

臓器別の登録数でみると、2010年には前立腺が乳房を、2011年には肺が胃を追い抜いています

## 検診・ドックにより発見された症例の割合



がん検診や人間ドックにより発見された悪性新生物の割合は、前立腺で高く、肝で低い傾向でした。肝については肝疾患経過観察中の発見が多いようです。



## 病期分類(ステージ分類)

### 1. UICC(国際対がん連合)のTNM分類による病期分類(ステージ分類)

腫瘍の大きさ(T), リンパ節転移の拡がり(N), 遠隔転移の有無(M)の3者の組み合わせによりがんの進行度を決定します。0期～IV期に分類され, 数字が大きいほどがんが進行していることを示します。UICCによる病期分類には, 治療開始前の診断時にがんの進行具合を分類する臨床病期と, 手術でがんがどこまで進んでいたかを摘出臓器やリンパ節転移の拡がりを確認して分類する病理病期があります。病理病期は手術で摘出した臓器やリンパ節転移を調べて決定するので, 病期の進行具合がよりの確に把握できます。2011年まではUICCのTNM分類第6版を用いて登録しています。

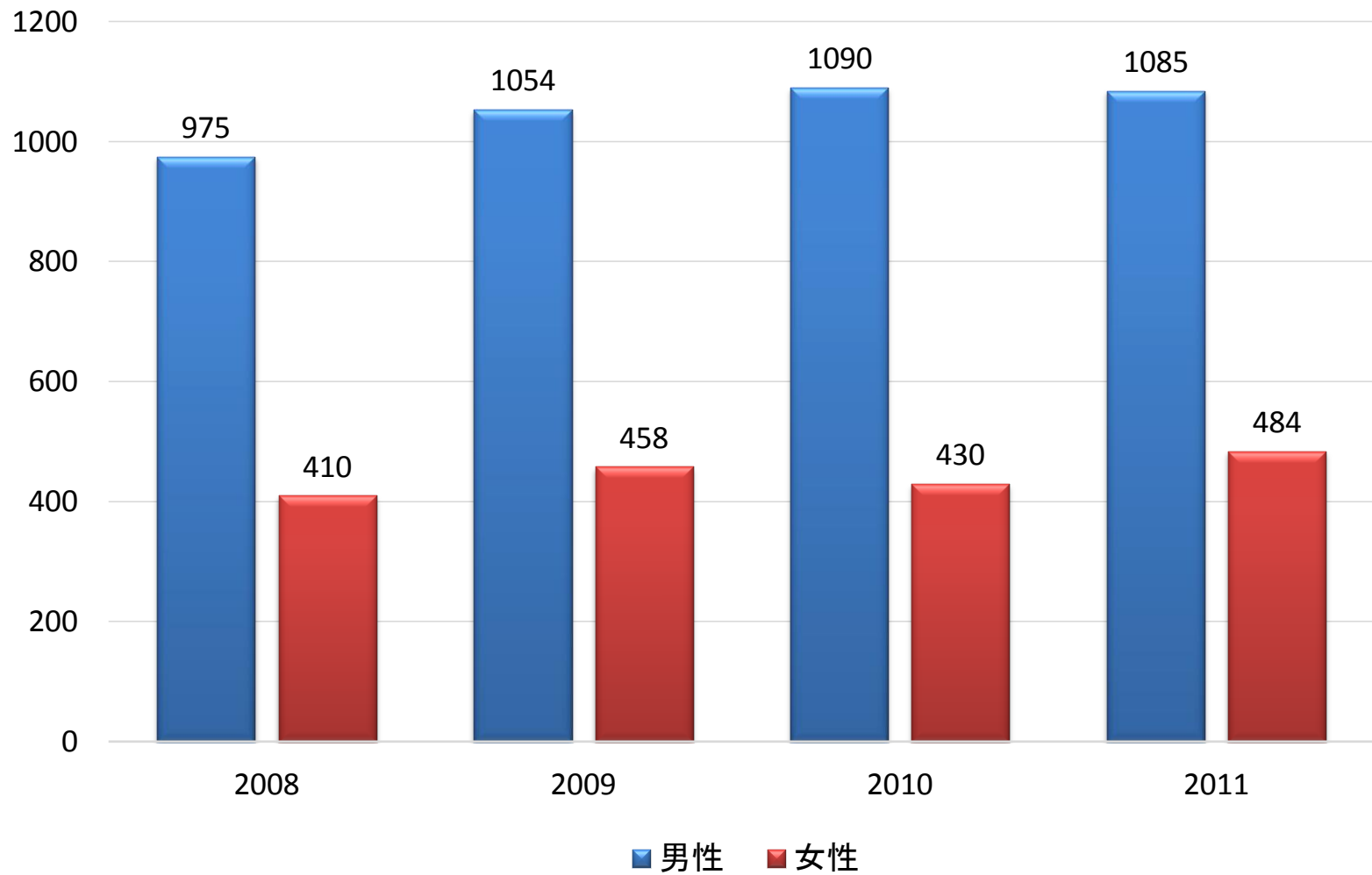
### 2. 各種「がん取扱い規約」による病期分類(ステージ分類)

各学会は「がん取扱い規約」によりがんの進行度を定めています。日本独特のものであり, 多くの臨床医はこちらを用いています。肝がんに関してはUICCのTNM分類とともにこのがん取扱い規約による病期分類も用いています。

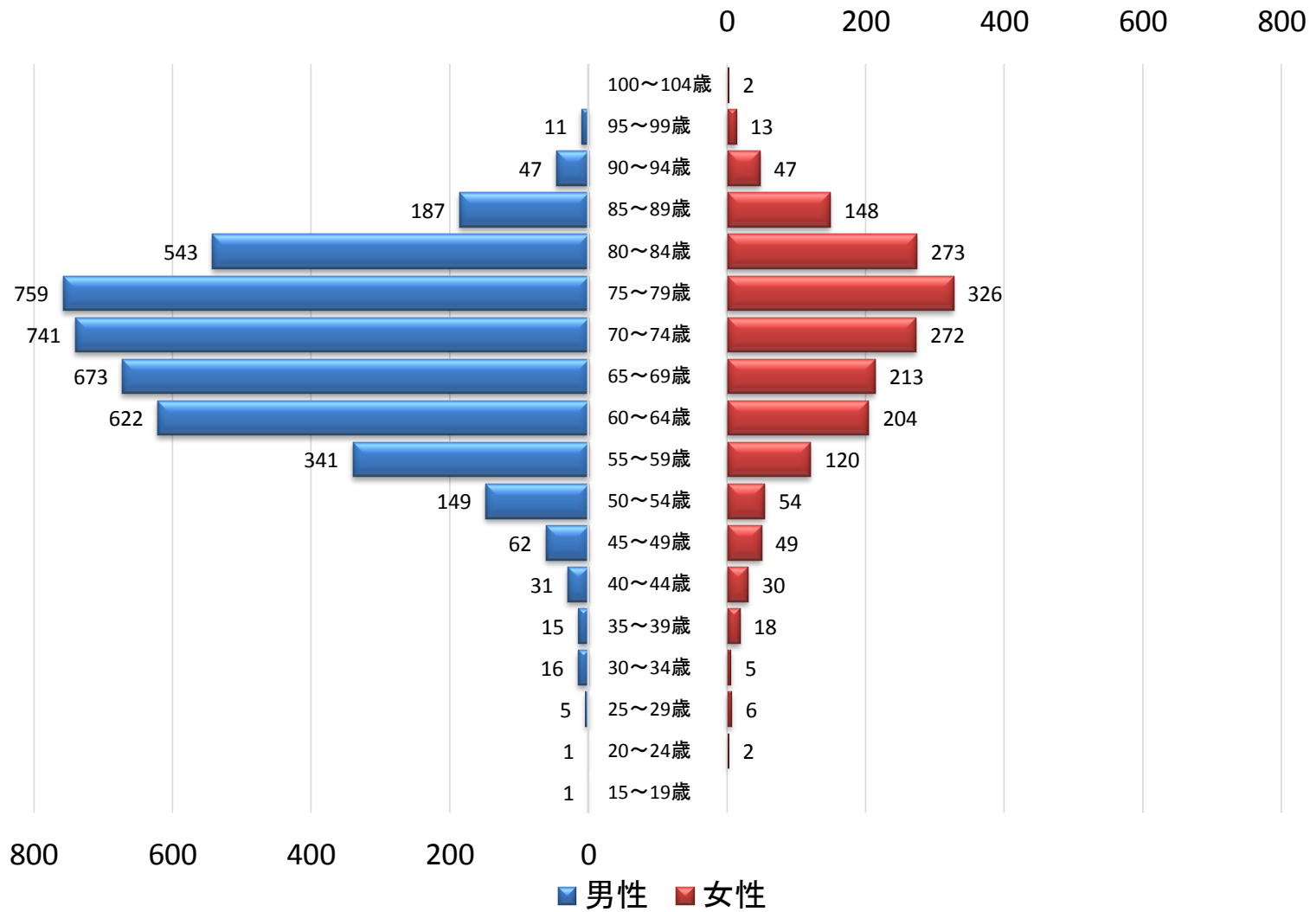
以下の各がんの項で示す臨床病期は, 明示していないものはすべてUICCのTNM分類第6版によるものです。

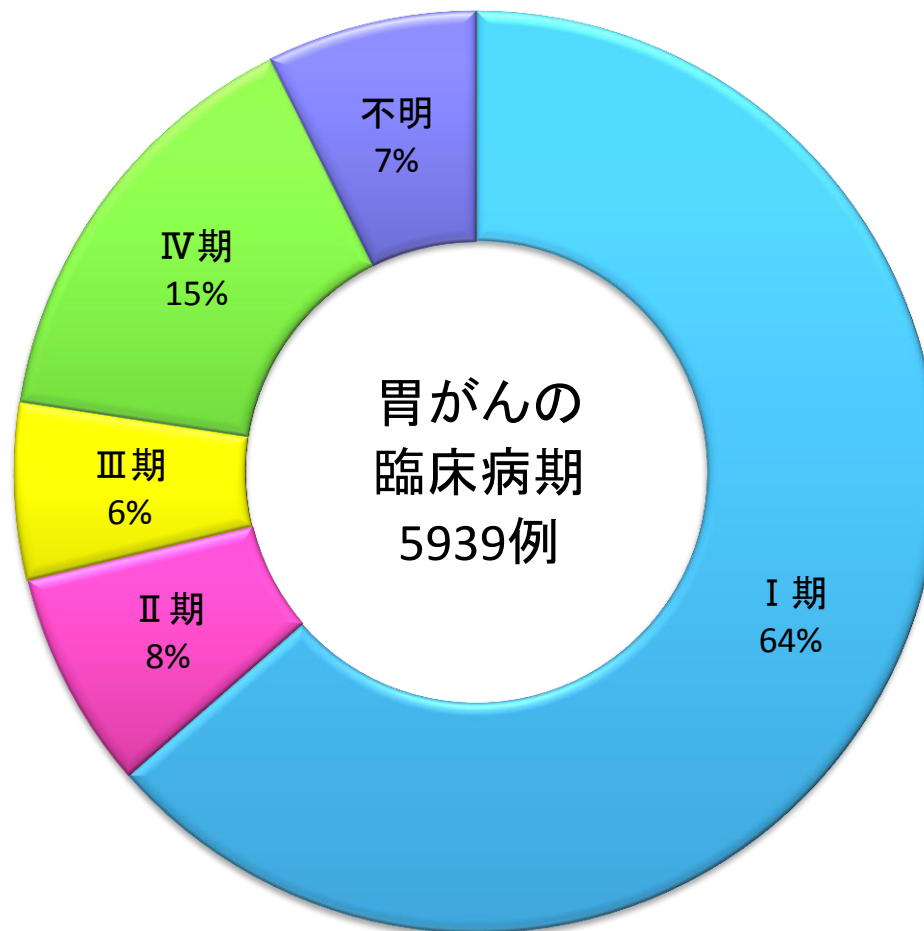
# 胃の悪性新生物

## 胃の悪性新生物 2008-2011



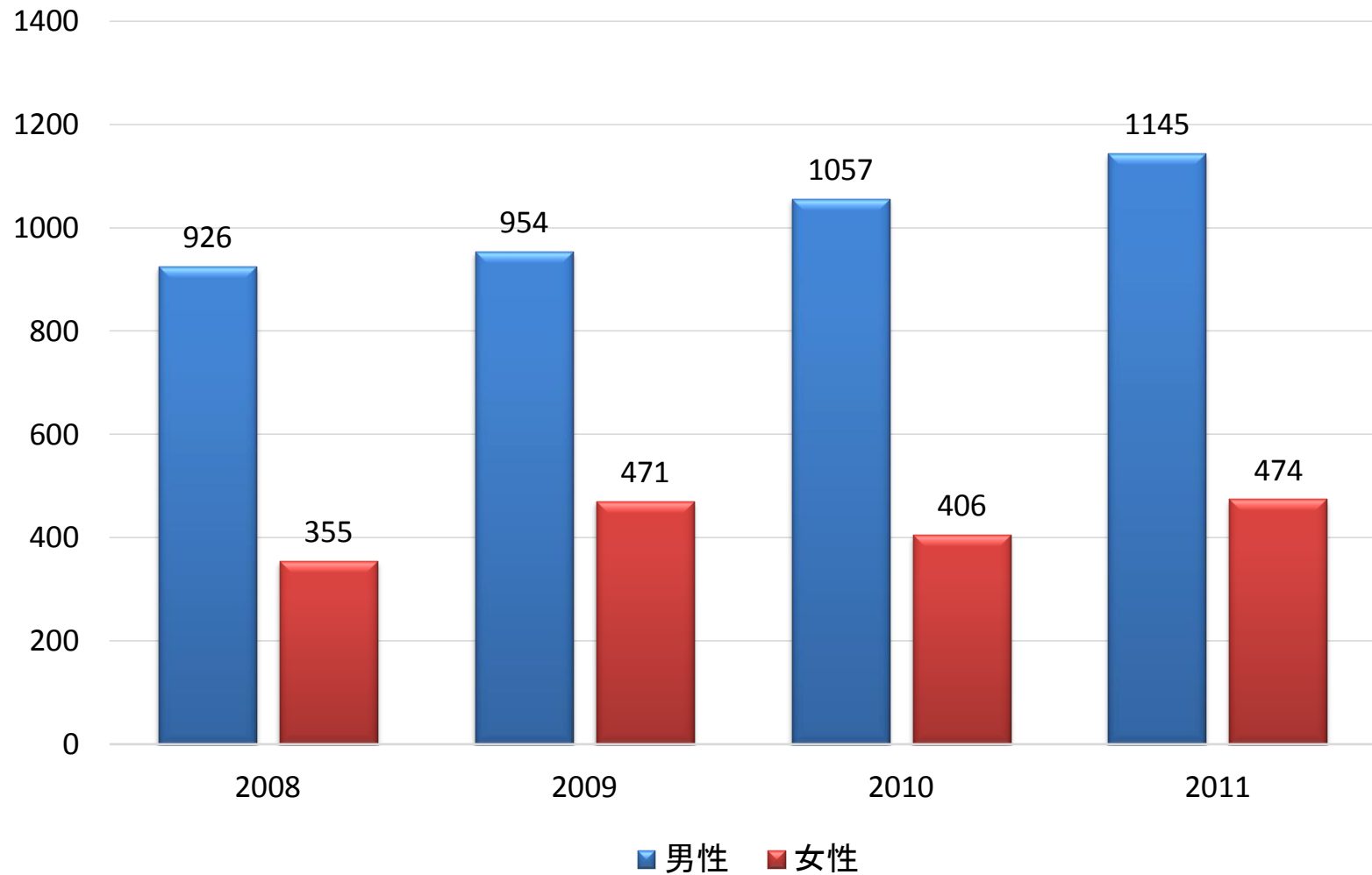
# 胃の悪性新生物一年齢分布 2008-2011





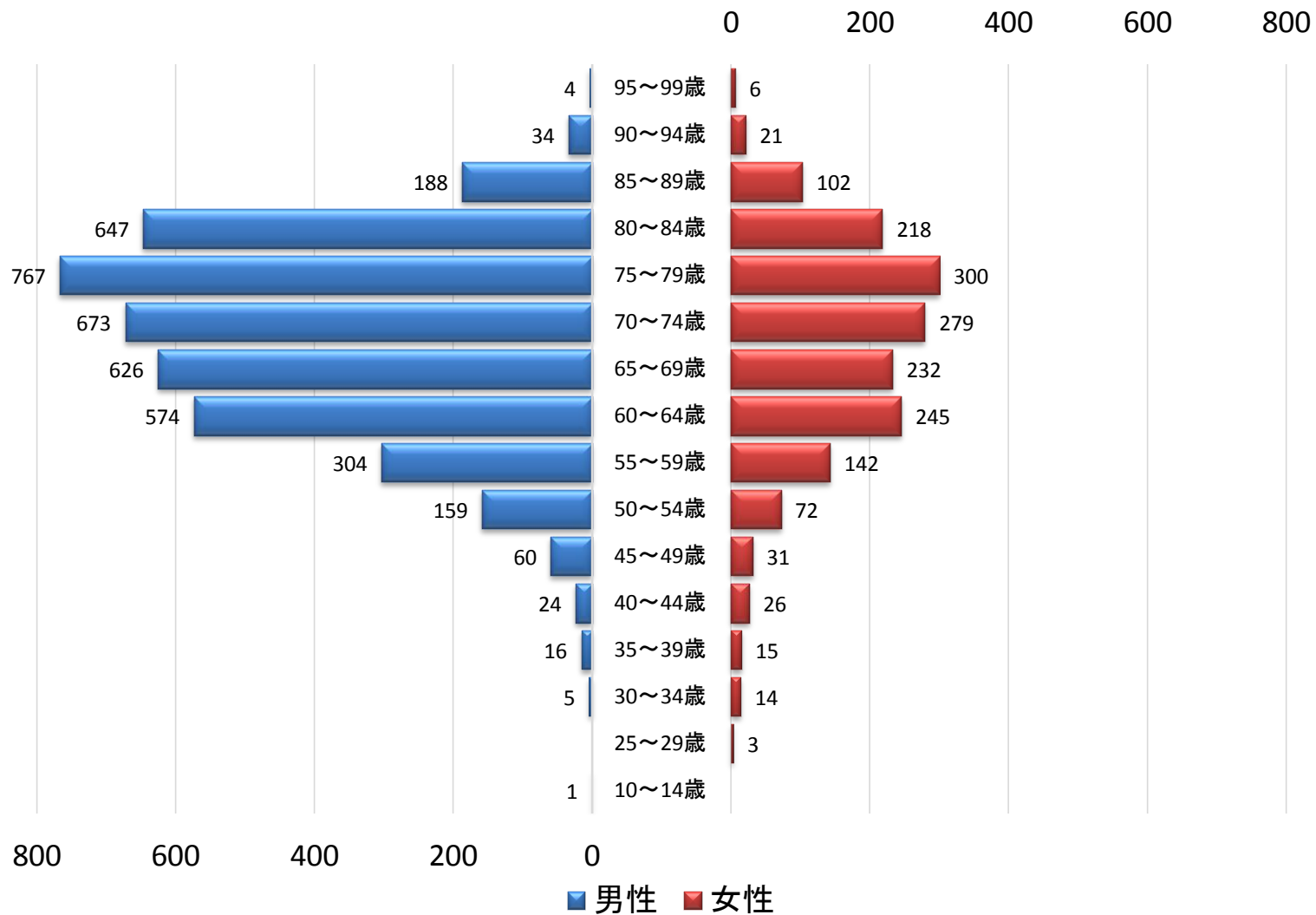
# 肺の悪性新生物

## 肺の悪性新生物 2008-2011

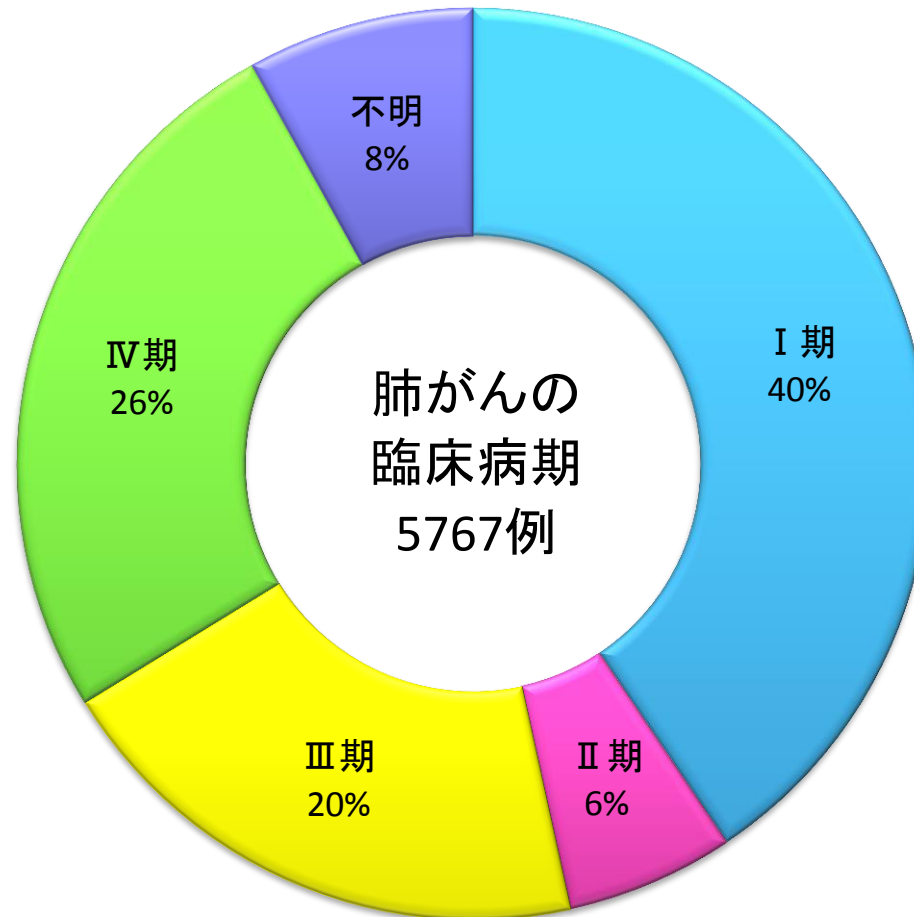


肺の悪性新生物の登録数は男性では増加傾向です

# 肺の悪性新生物一年齢分布 2008-2011

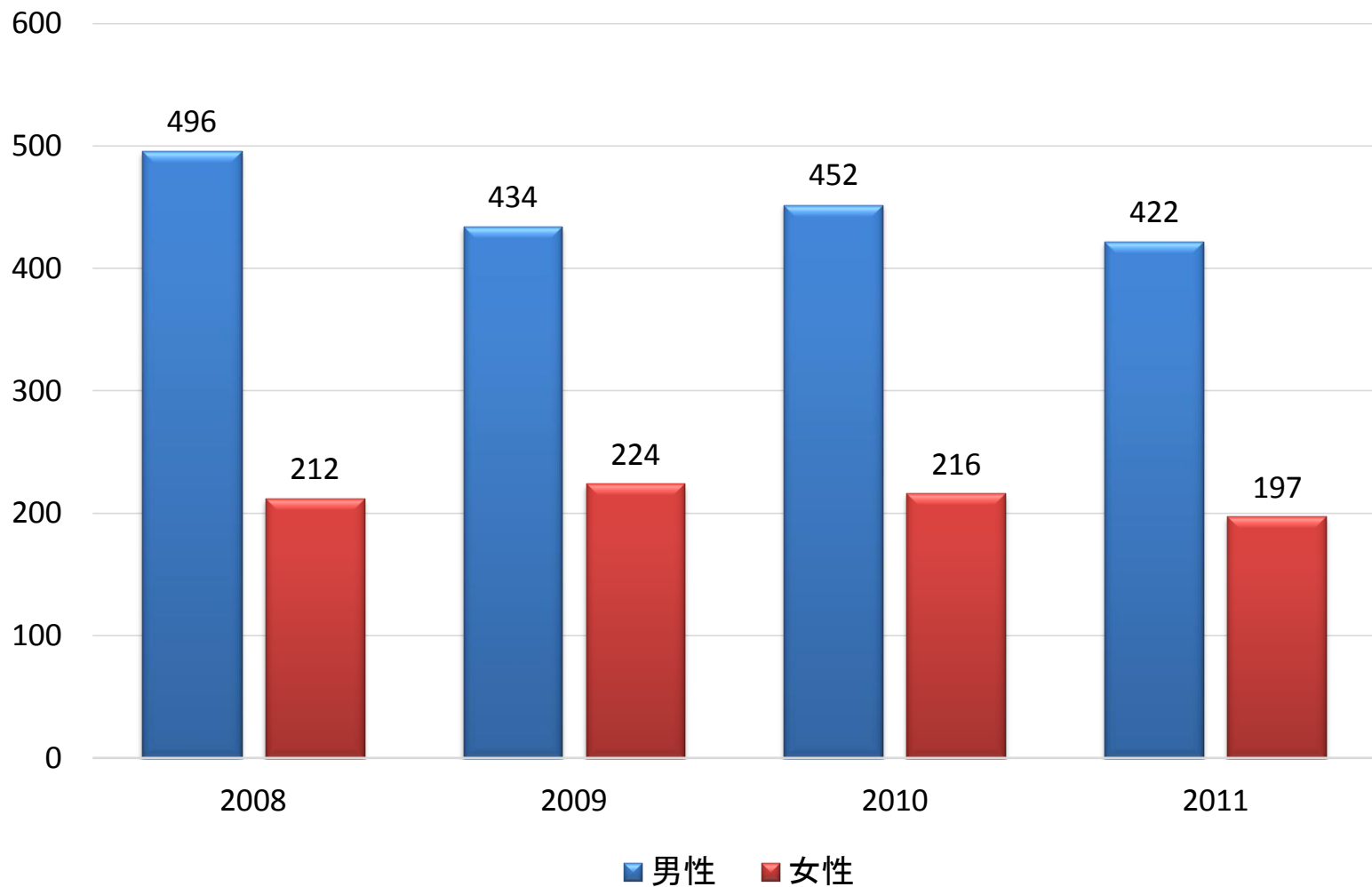






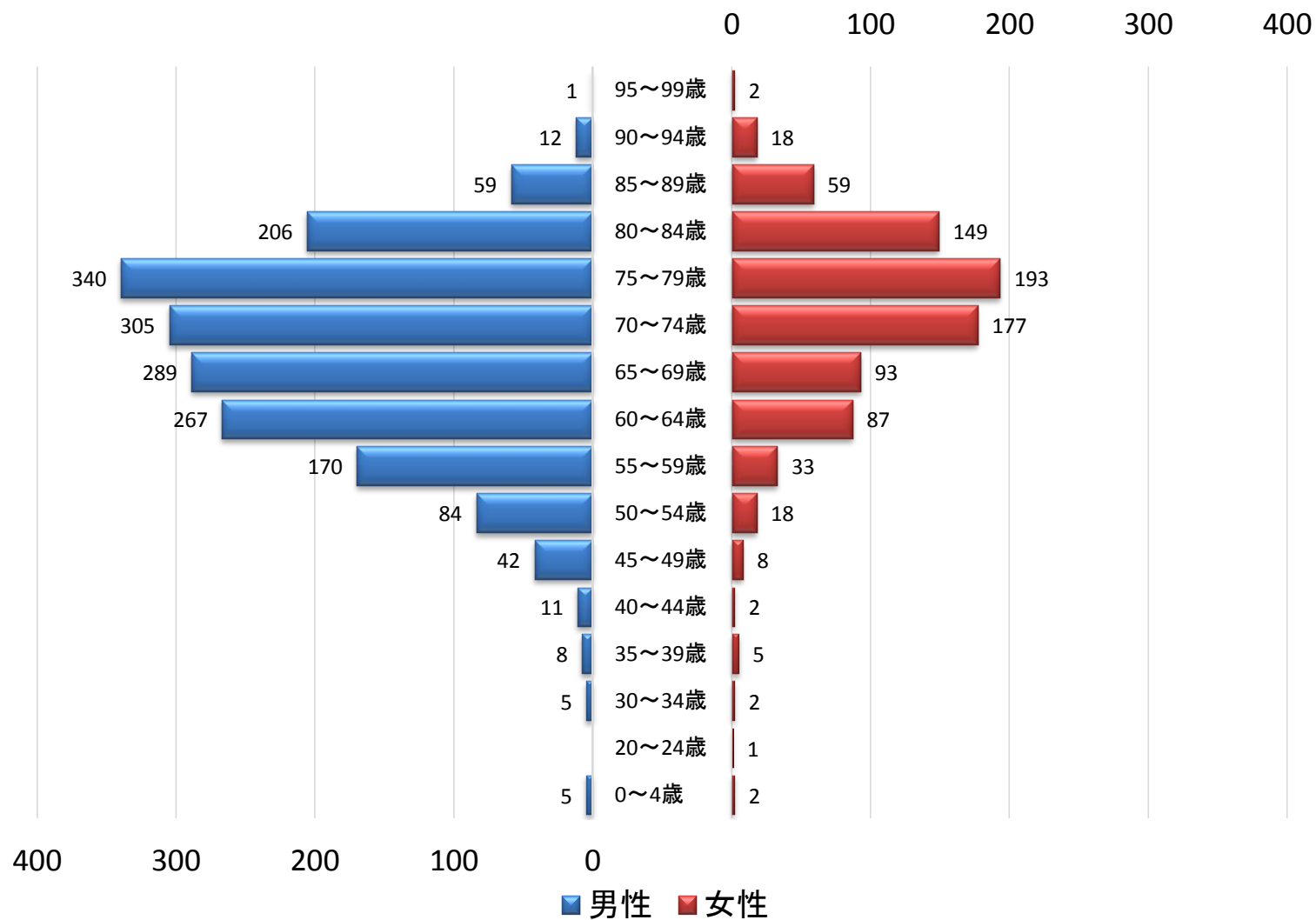
# 肝の悪性新生物

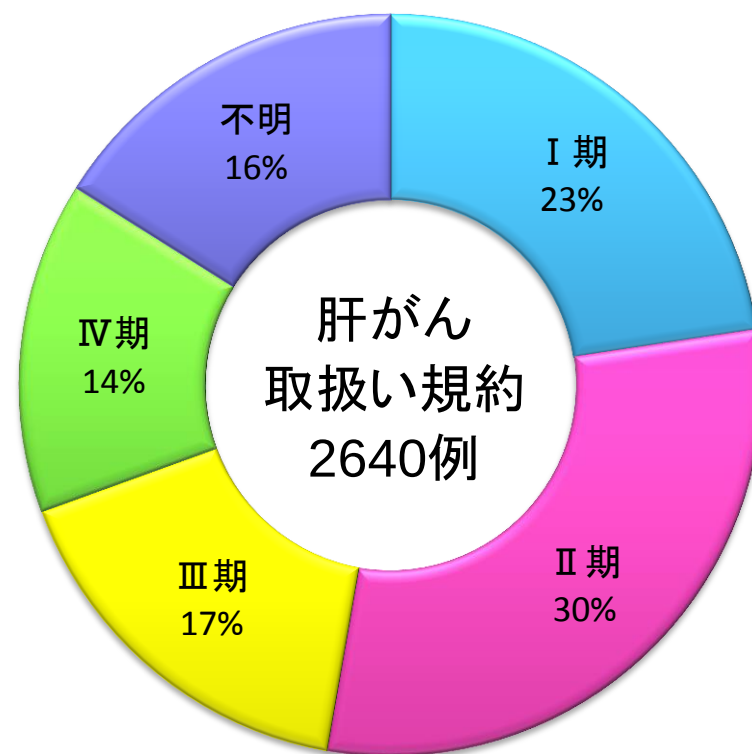
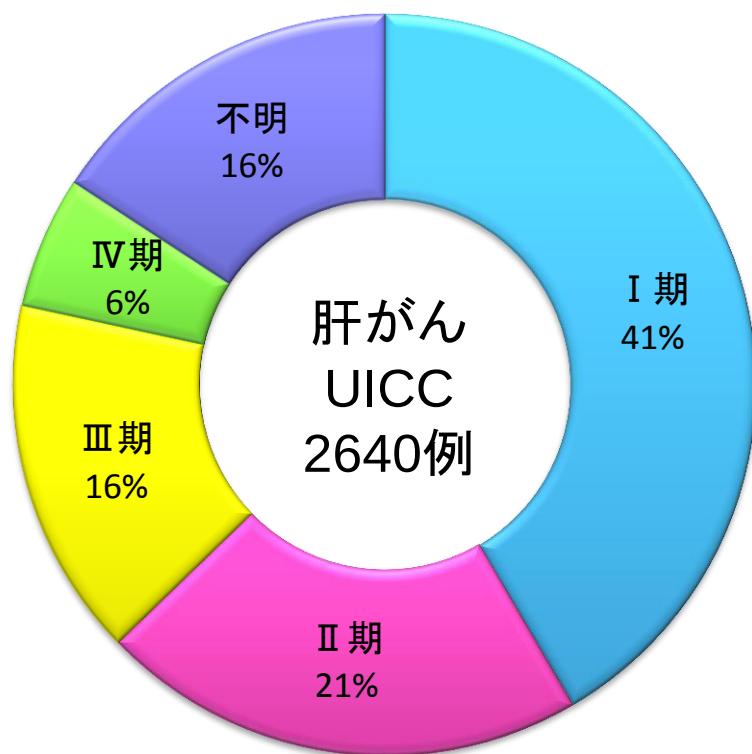
## 肝の悪性新生物 2008-2011



肝の悪性新生物の登録数は若干減少傾向です

# 肝の悪性新生物一年齢分布 2008-2011

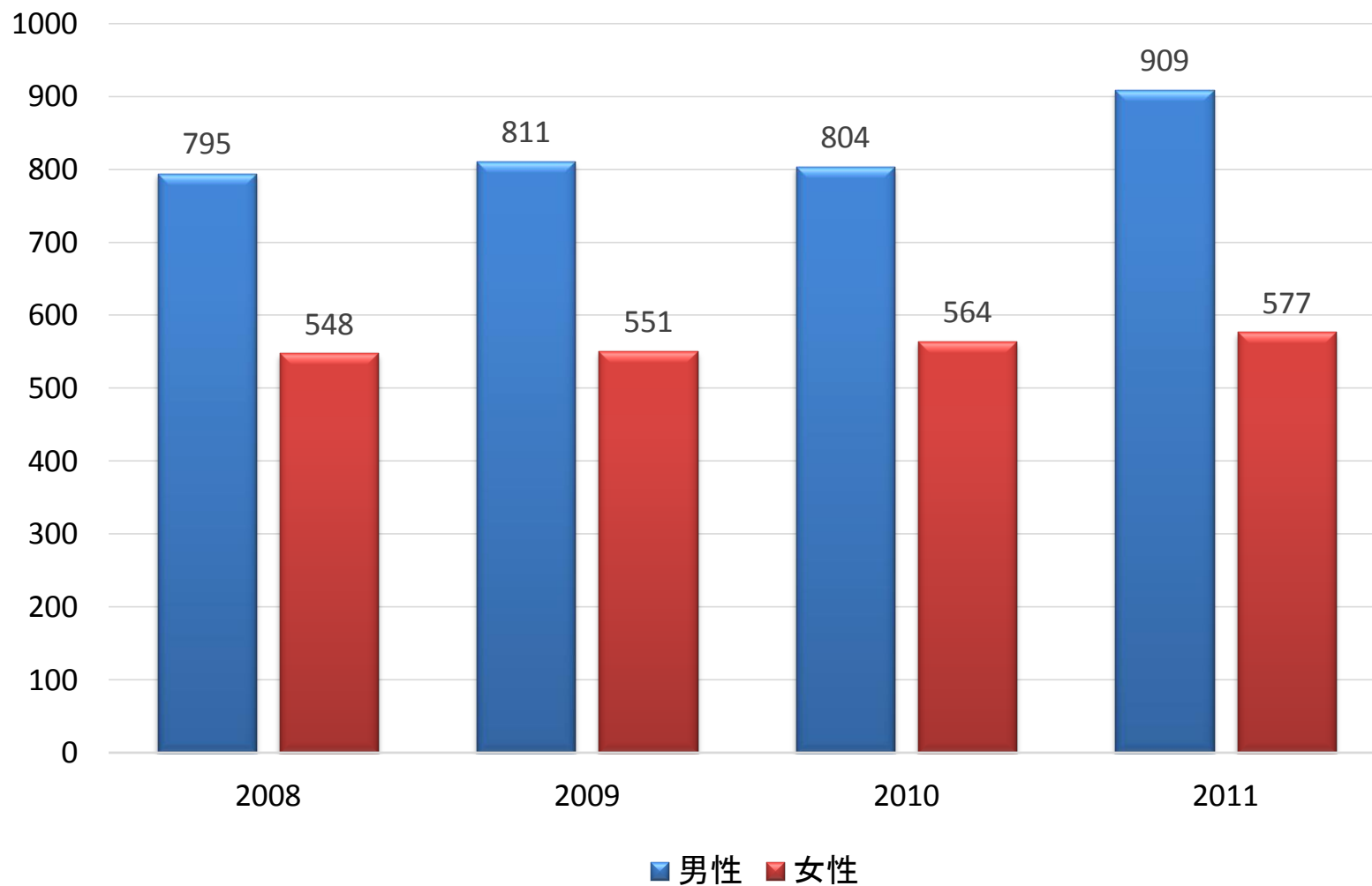




肝がんではUICC(国際対がん連合)とがん取扱い規約による病期分類の両者を示します

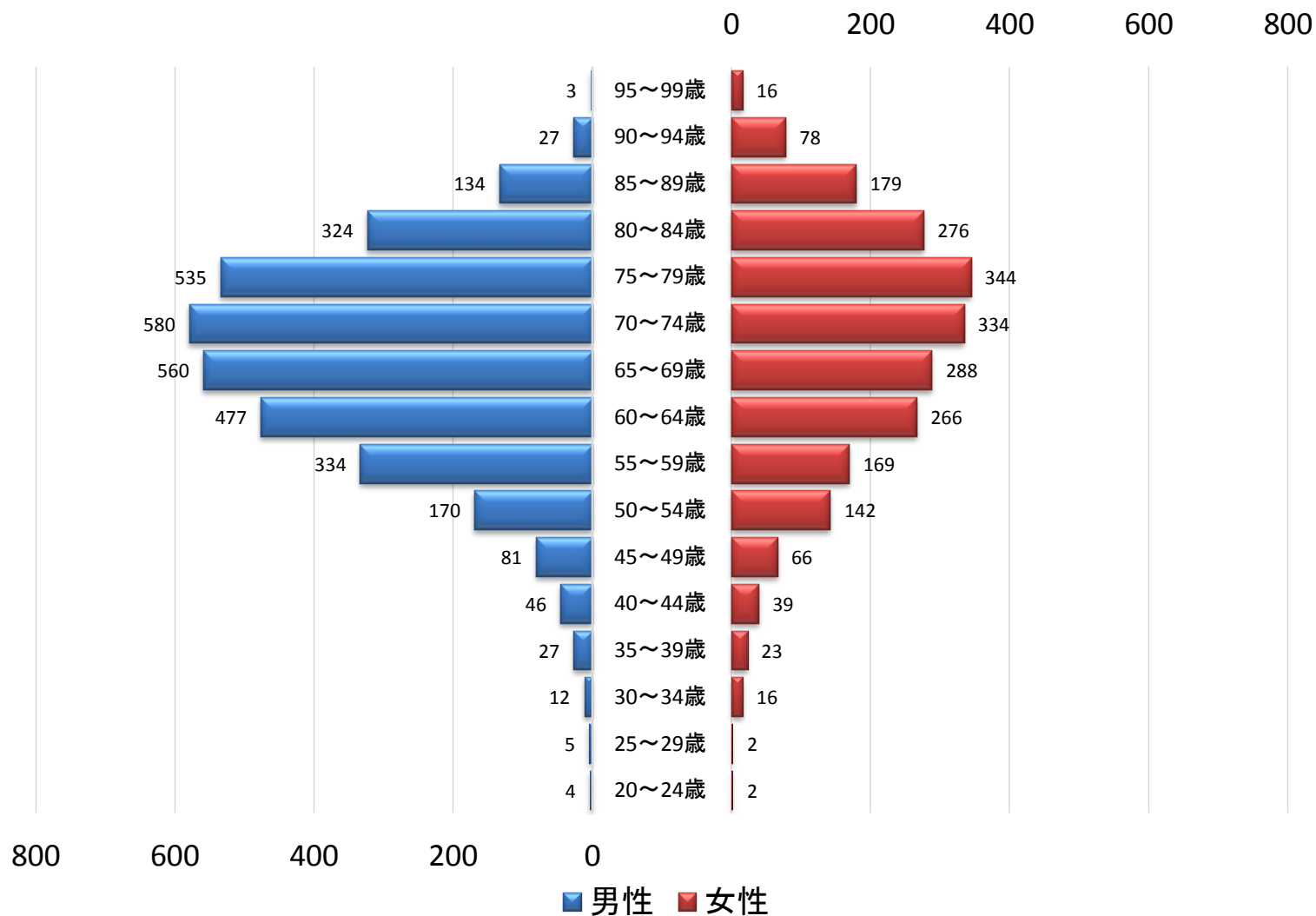
# 大腸の悪性新生物

## 大腸の悪性新生物 2008-2011



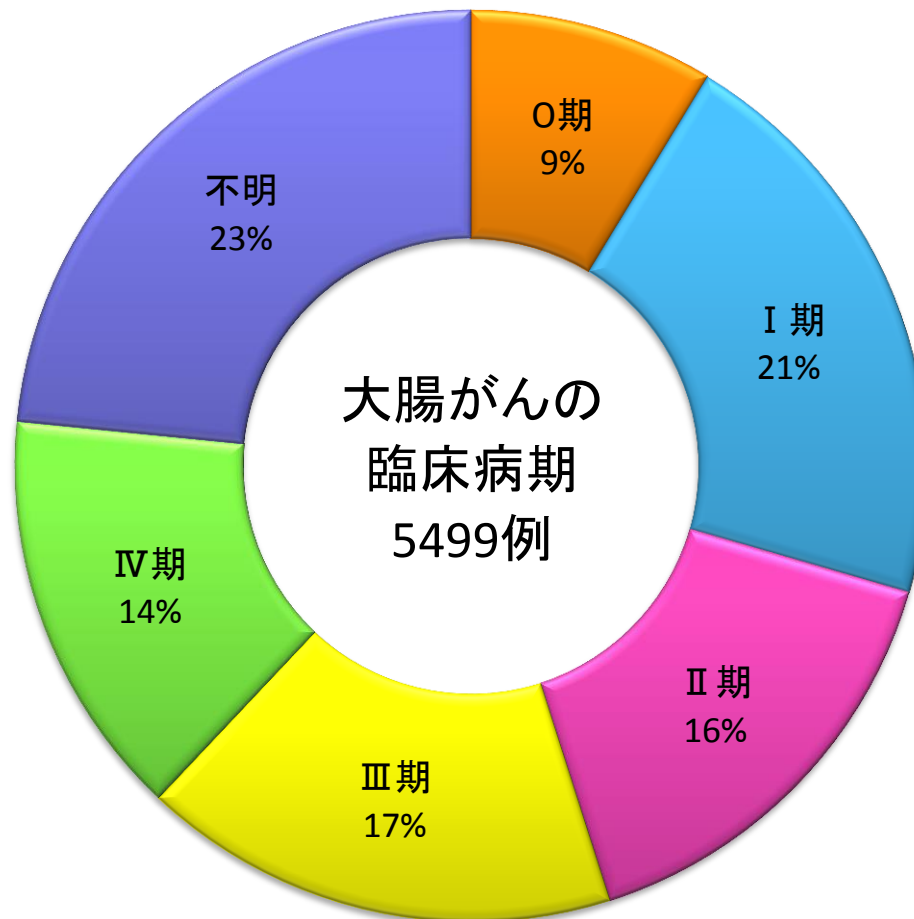
大腸の悪性新生物の統計では結腸と直腸の両者を含めています

# 大腸の悪性新生物一年齢分布 2008-2011



大腸の悪性新生物の統計では結腸と直腸の両者を含めています

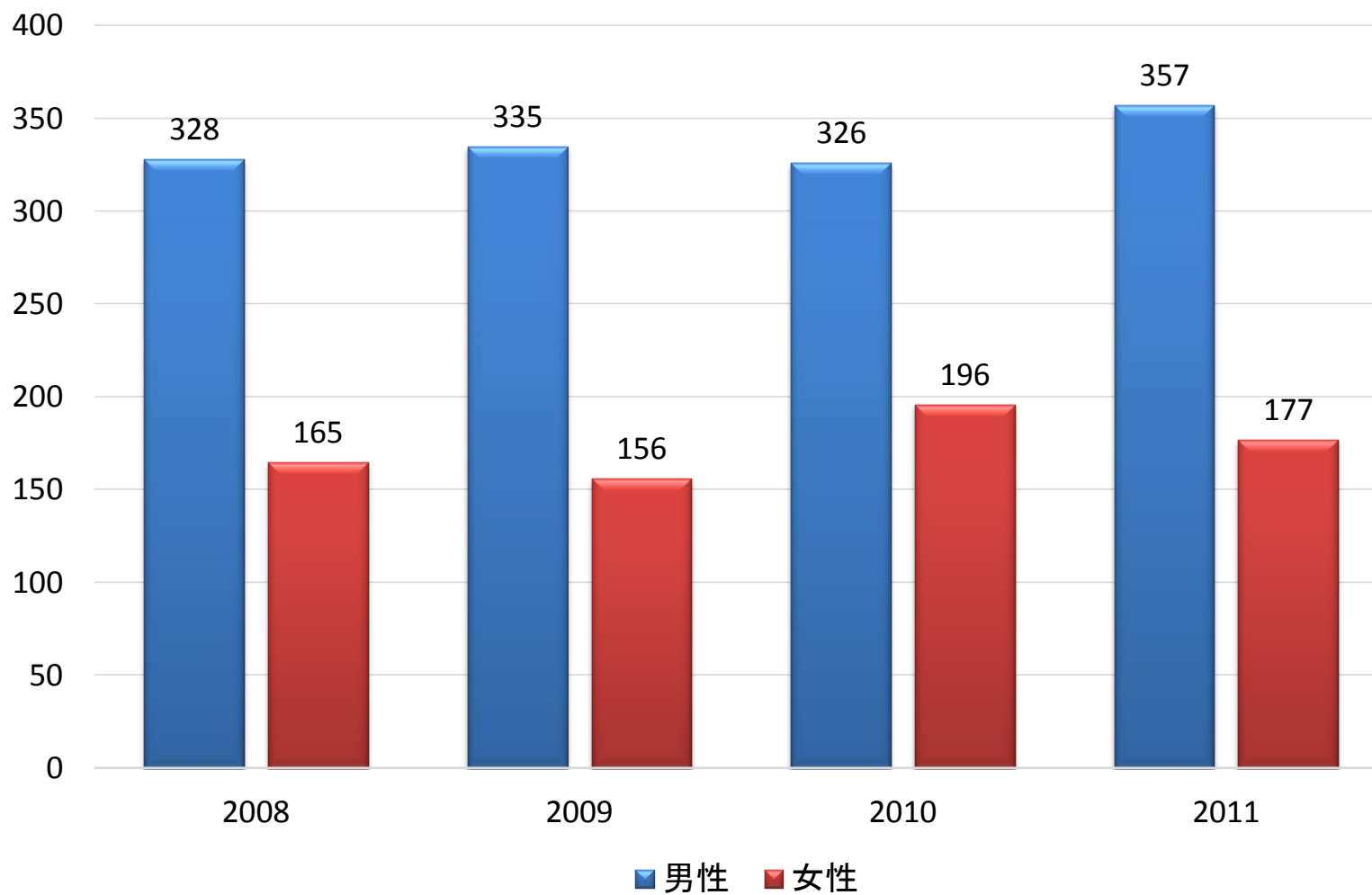




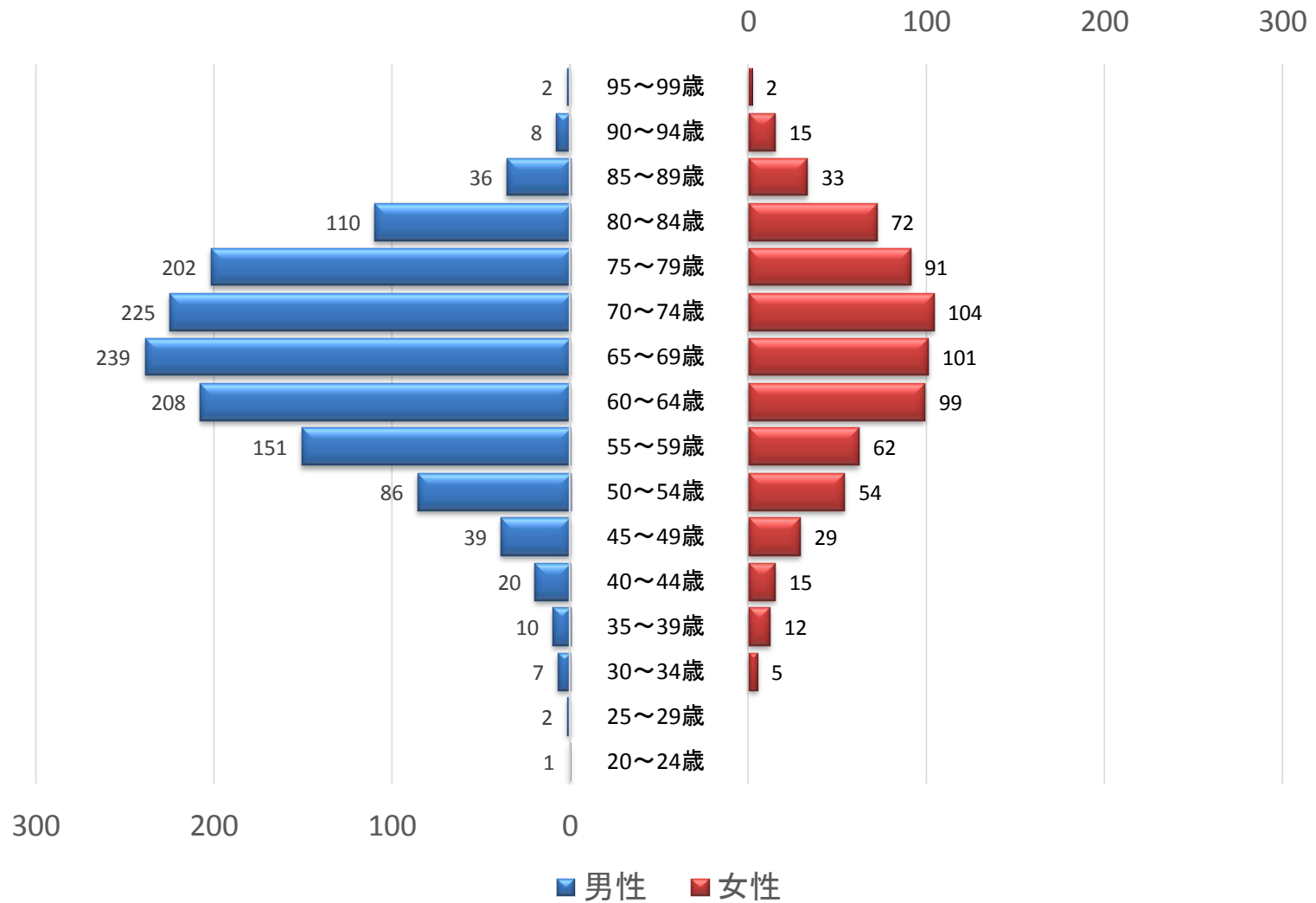
大腸がんの臨床病期の統計では結腸と直腸の両者を含めています

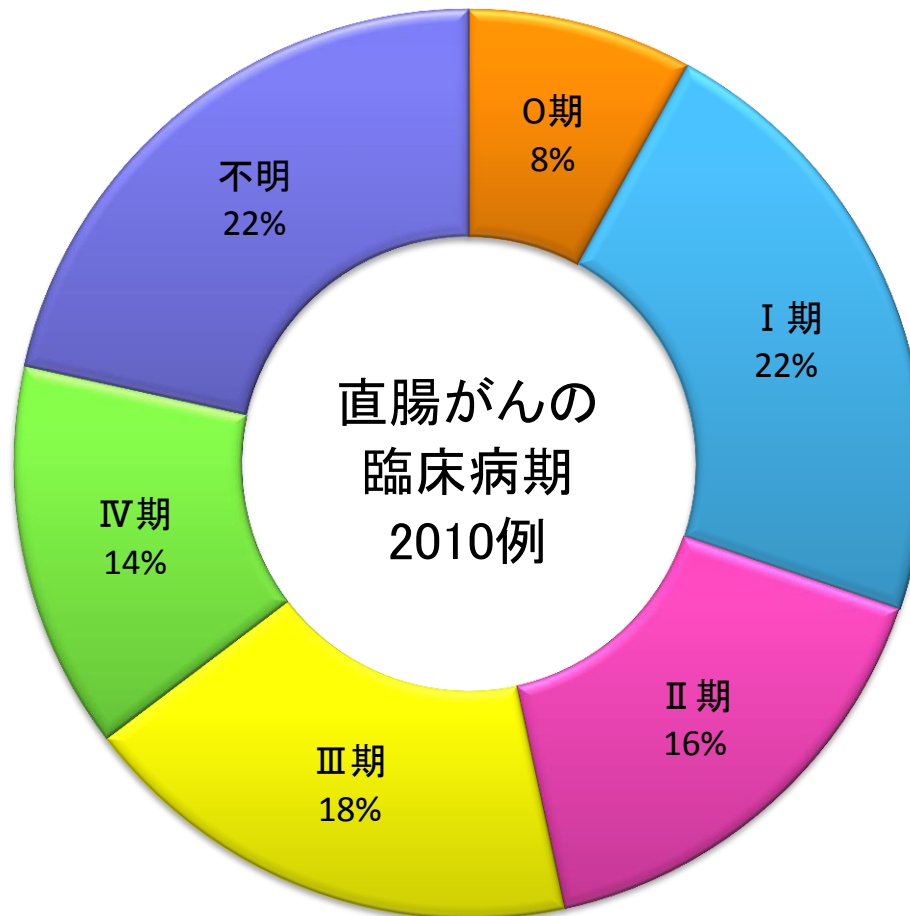
# 直腸の悪性新生物

## 直腸の悪性新生物 2008-2011



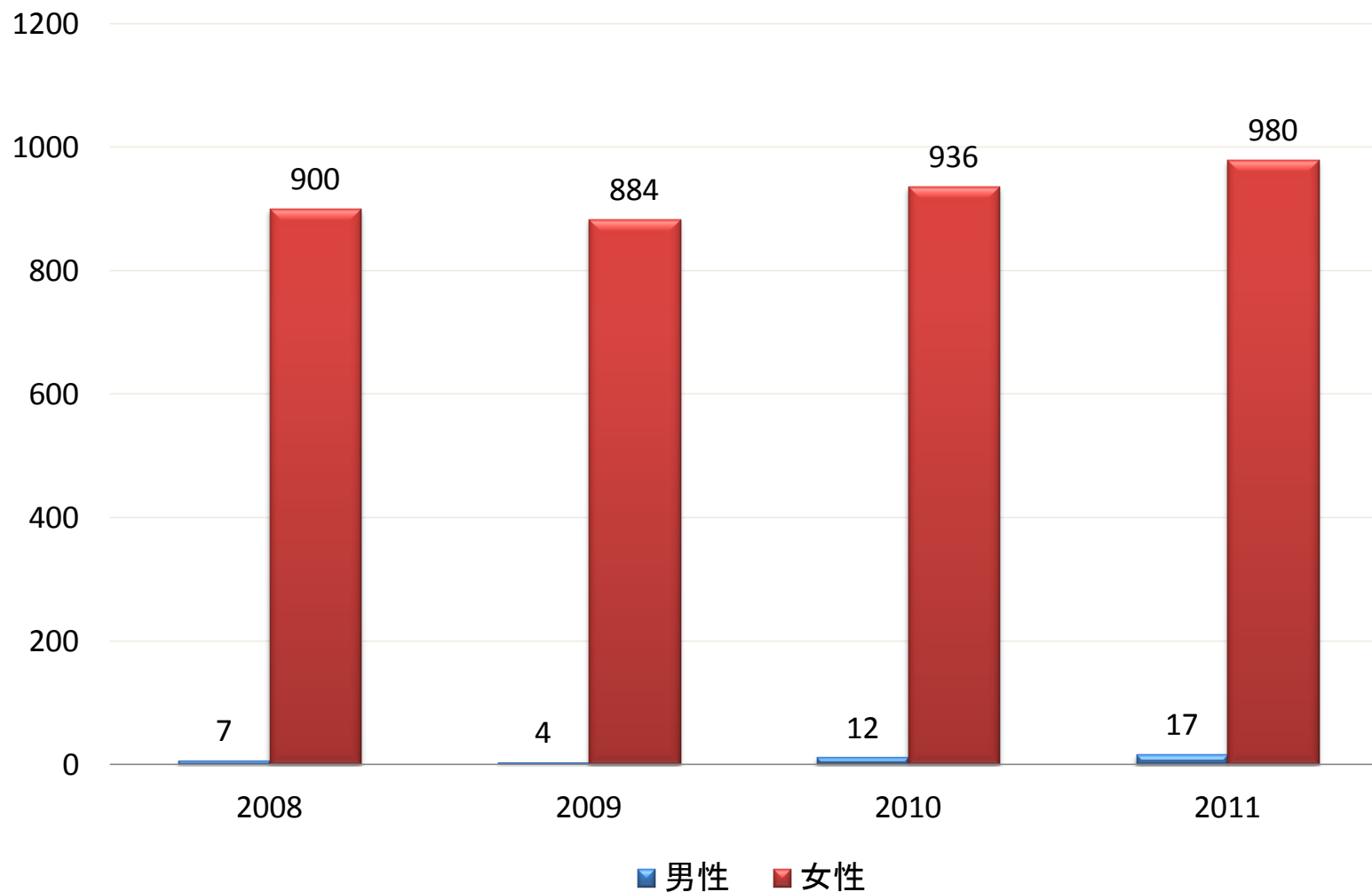
# 直腸の悪性新生物一年齢分布 2008-2011





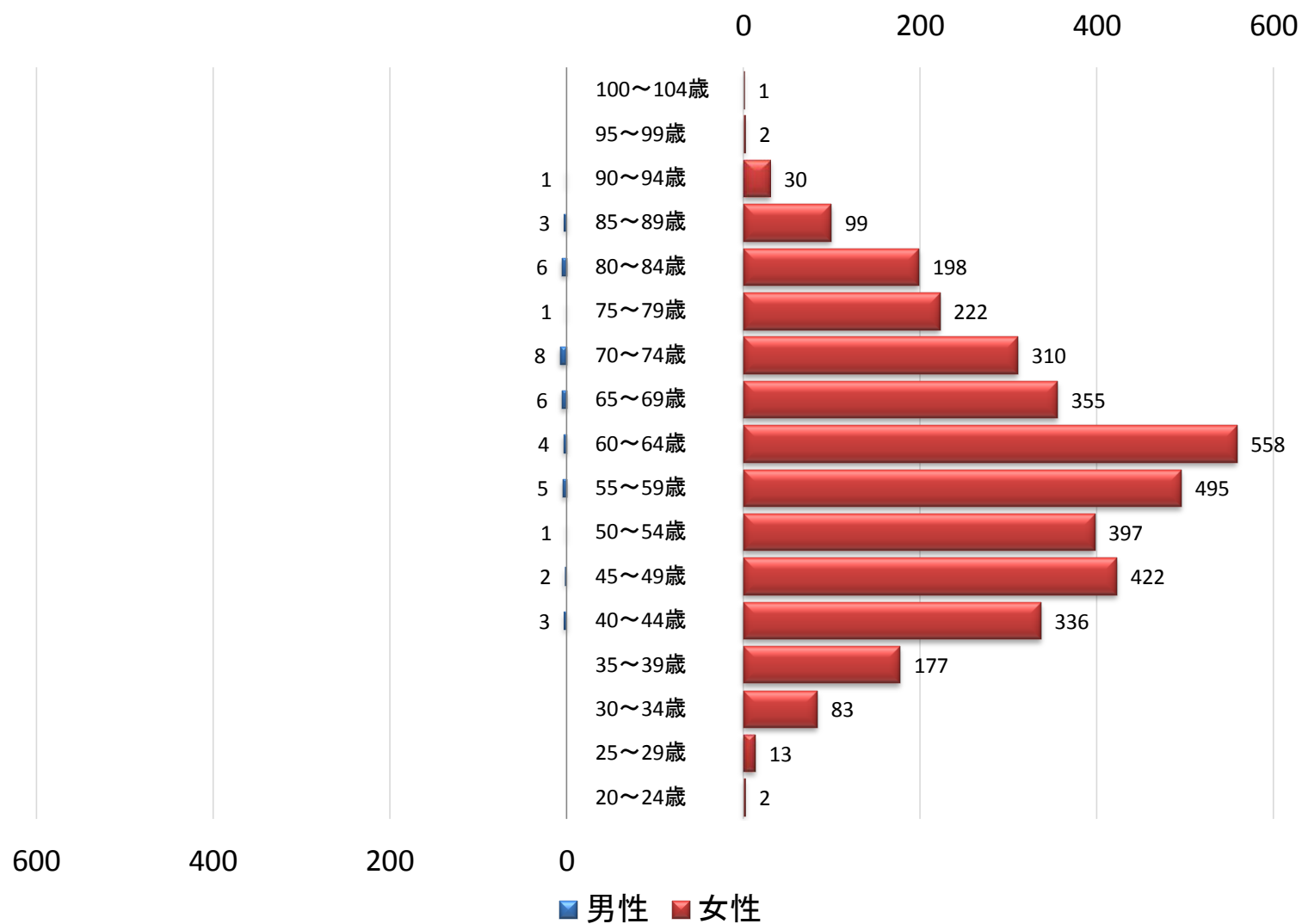
# 乳房の悪性新生物

## 乳房の悪性新生物 2008-2011

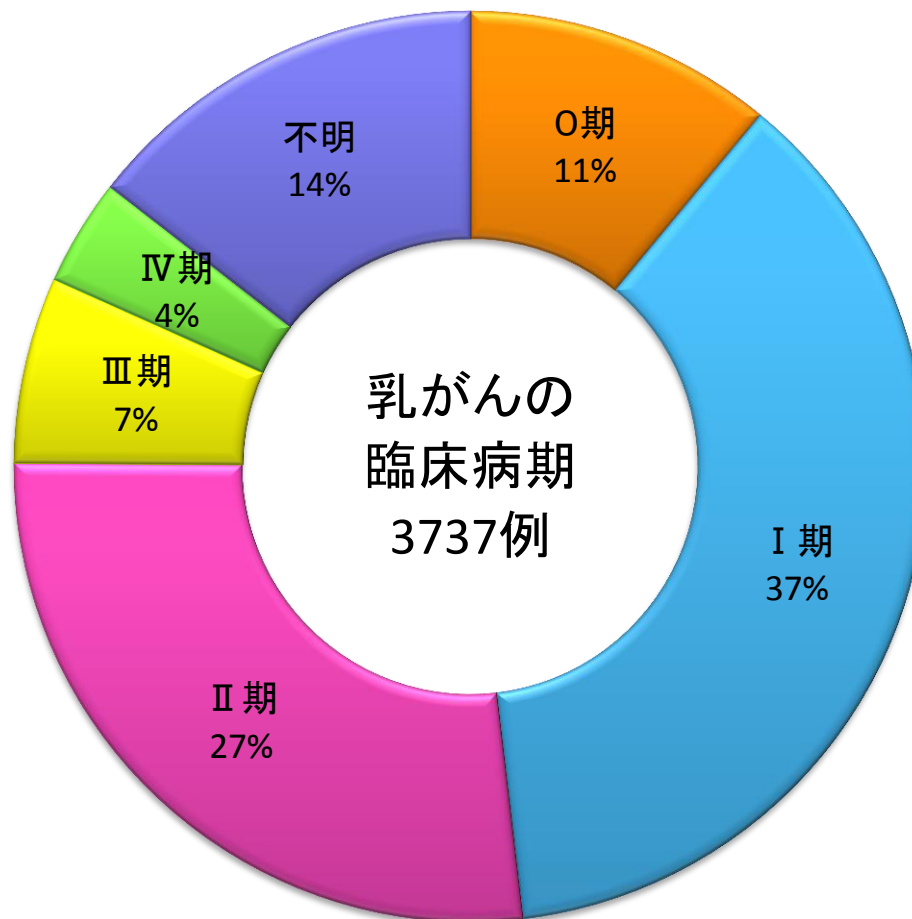


少数ではありますが男性にも乳房の悪性新生物があります

# 乳房の悪性新生物一年齢分布 2008～2011

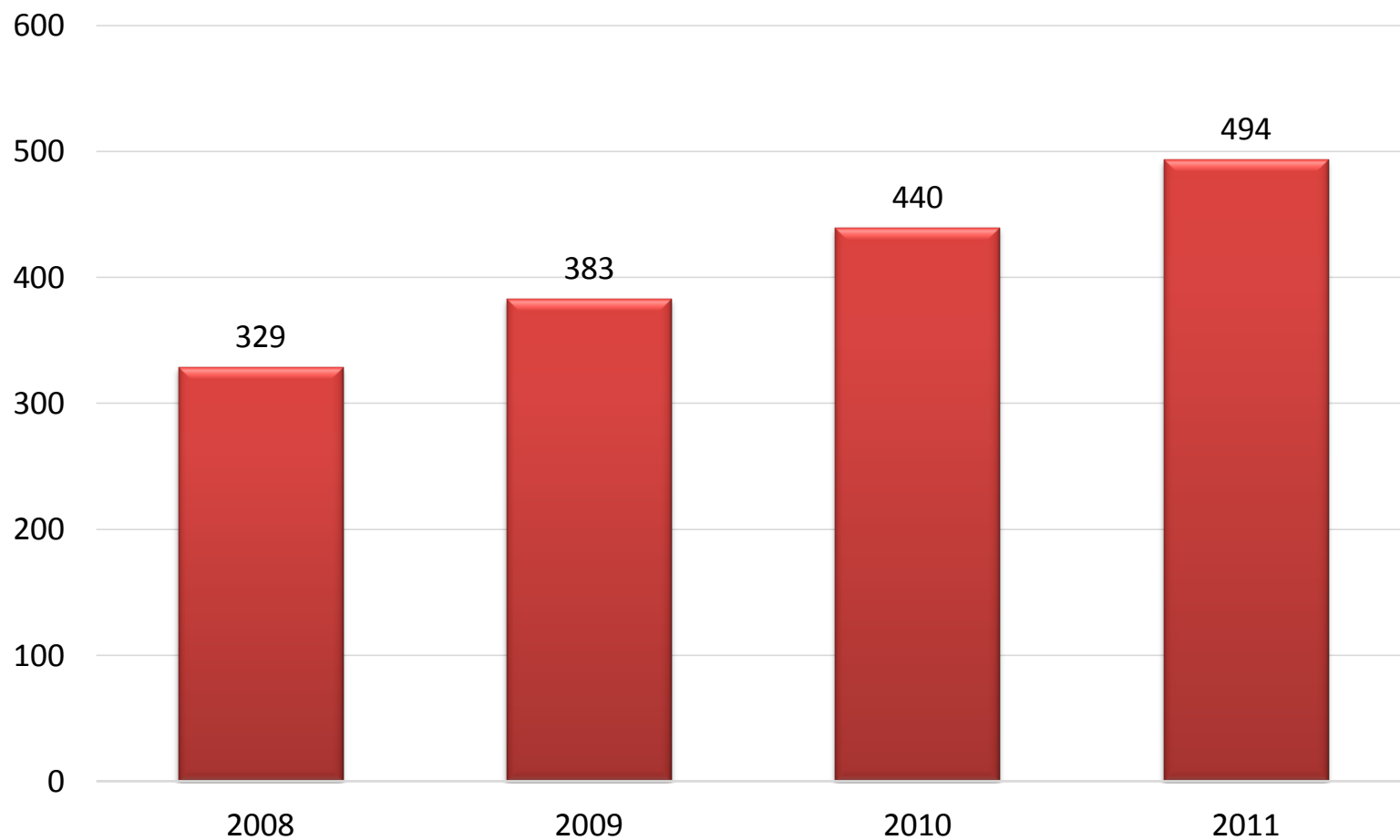






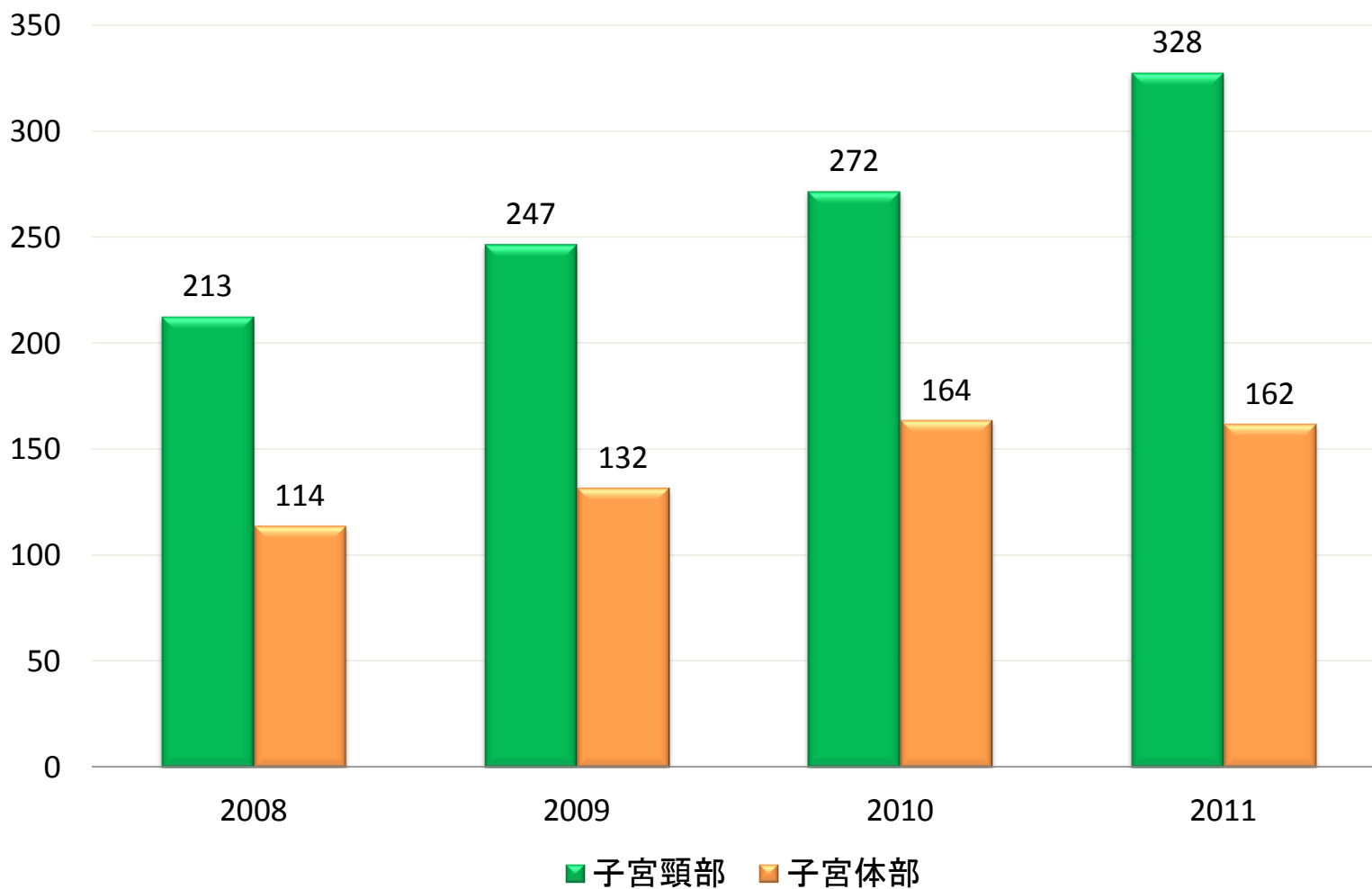
# 子宮の悪性新生物

## 子宮の悪性新生物 2008-2011



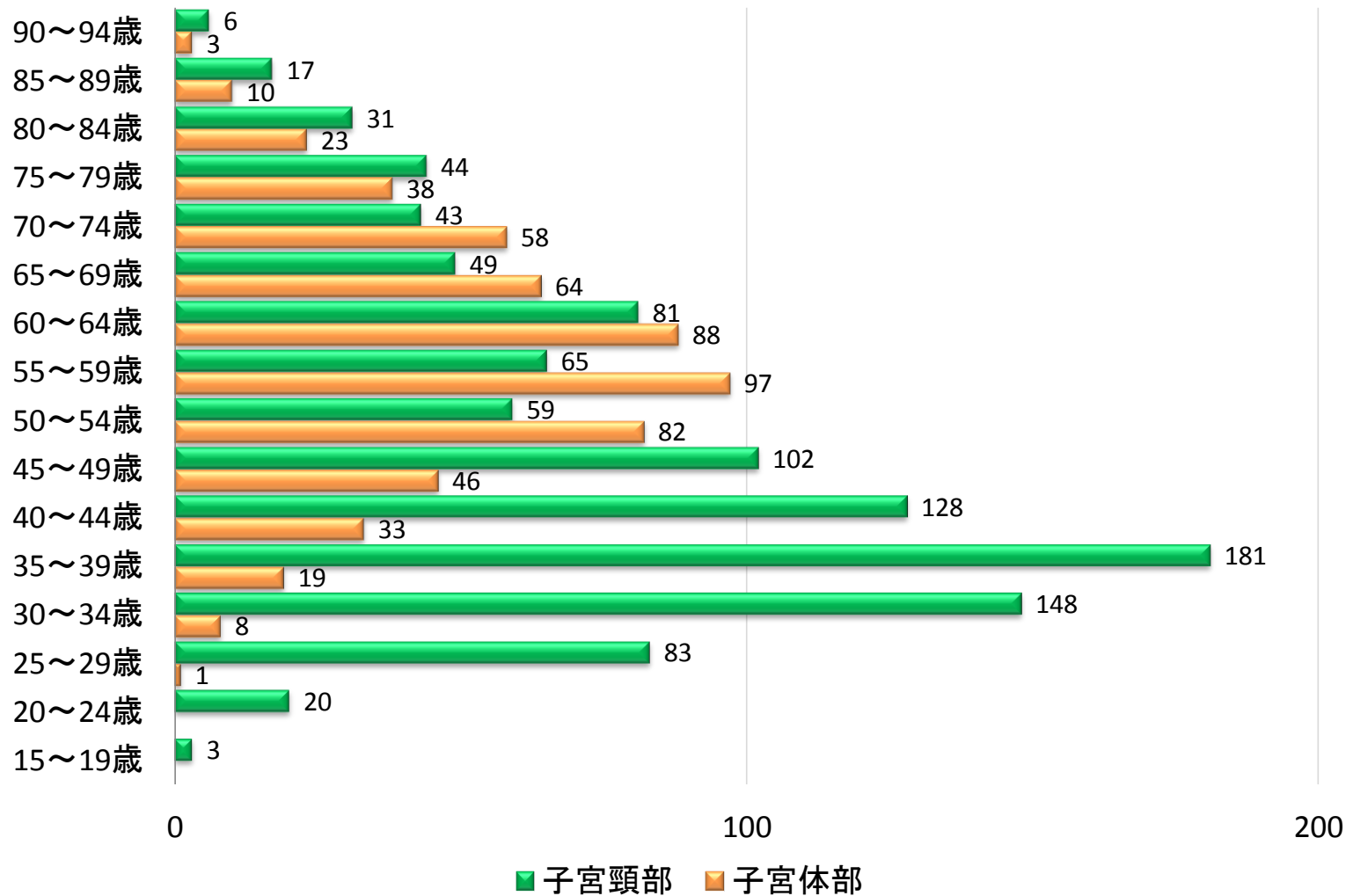
子宮の悪性新生物の登録数は年々増加傾向です

## 子宮の悪性新生物(子宮頸部・子宮体部) 2008-2011

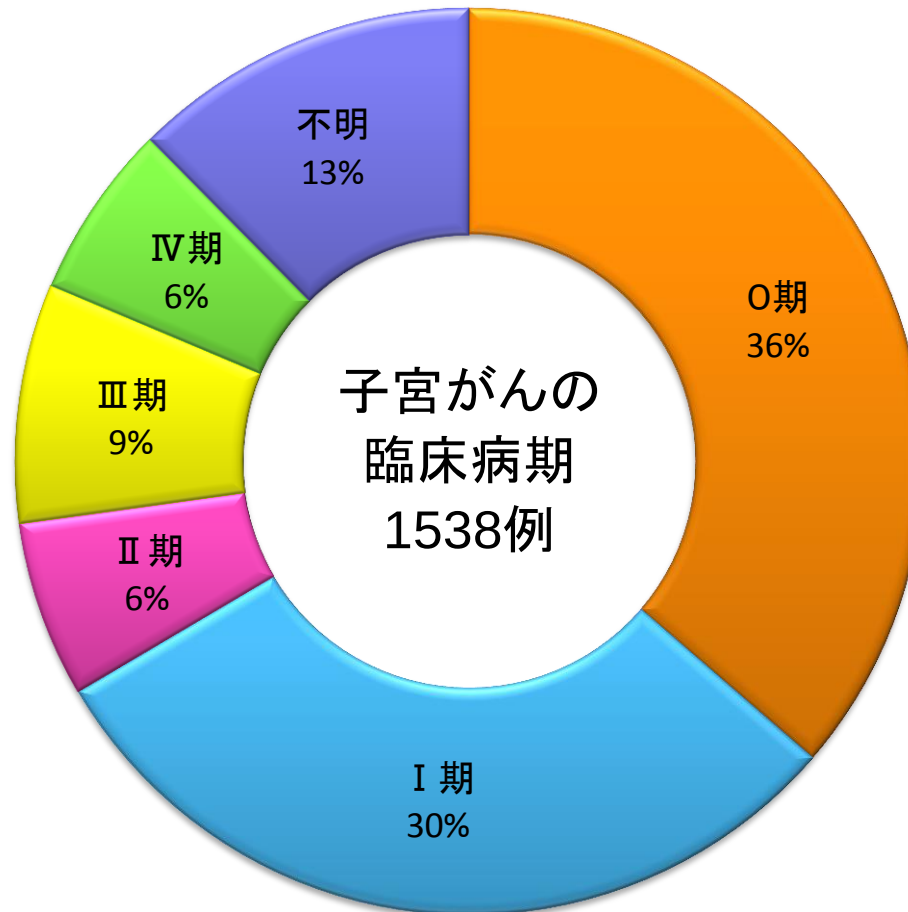


子宮頸部の悪性新生物の登録数は年々増加傾向です

## 子宮(頸部・体部)の悪性新生物一年齢分布 2008-2011

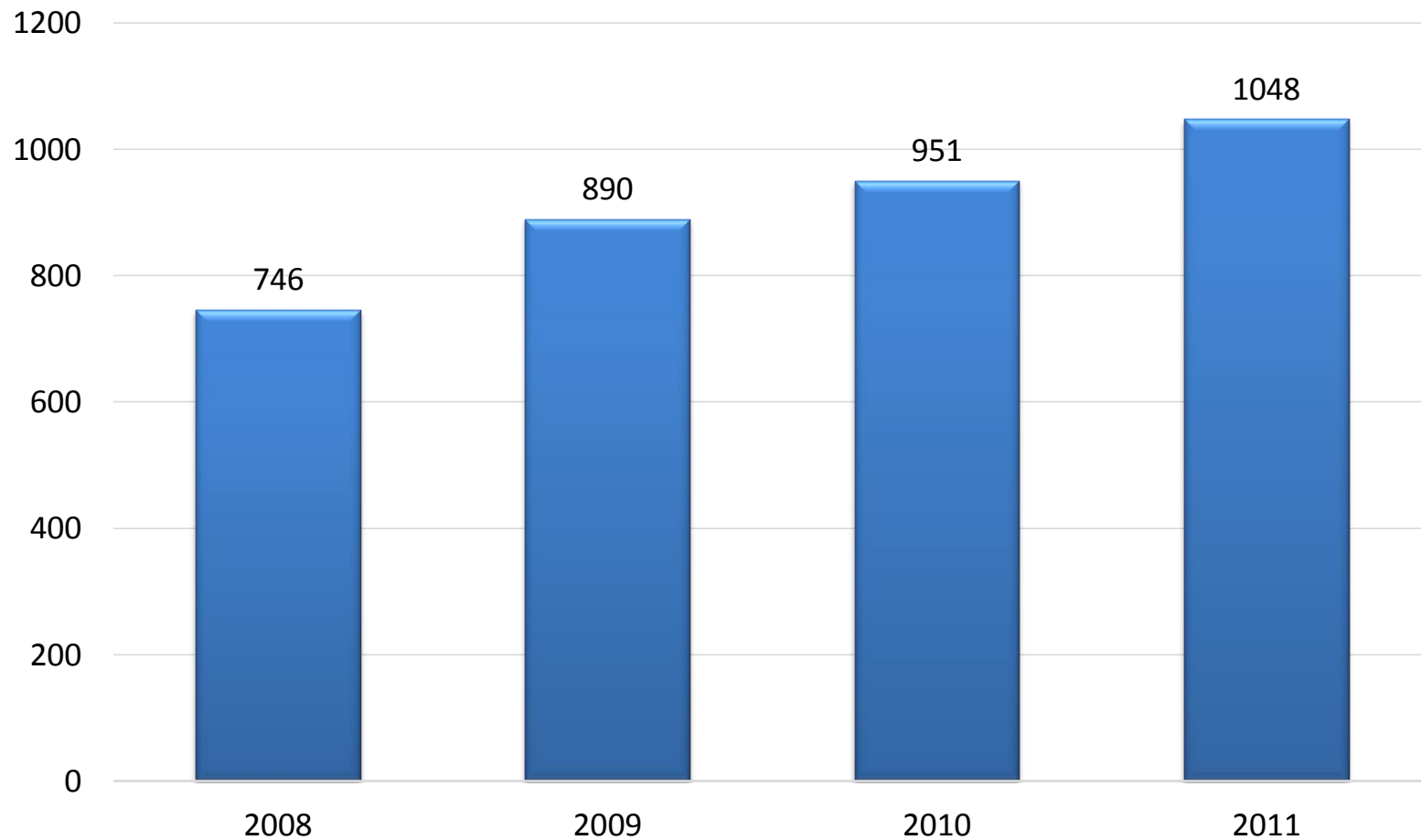


子宮頸部は子宮体部とくらべて比較的若年女性に頻度が高いといえます



# 前立腺の悪性新生物

## 前立腺の悪性新生物 2008-2011



前立腺の悪性新生物の登録数は増加傾向です



# 前立腺の悪性新生物の年齢分布 2008-2011

